

議 事 録

業務件名		須崎市公共下水道施設等運営事業	
日 時		令和 7 年 6 月 25 日（水）	自 13：30 ～ 至 14：00
出席者	須崎市上下水道課 4 名		
	須崎市環境未来課 4 名		
	（株）クリンパートナーズ須崎（以下 CPS） 8 名		
打合せ場所		須崎市役所保健センター 会議室 2	記録作成者 CPS
資料	・ 令和 7 年 5 月度すさき家パートナー会議資料（CPS）		
打合せ事項、対策・合意事項等			
令和 7 年 5 月度すさき家パートナー会議			
1.出席者を確認した。			
2.今月のセルフモニタリングのチェック項番			
・ セルフモニタリング会議で確認したチェックリスト項番を示した。			
3.経営に関する業務			
・ 5 月度の財務状況を報告した。			
・ 法令順守、情報公開に関して、特に問題が無いことを確認した。			
4.汚水管渠			
・ 当月は、日降水量 100mm 以上の降雨日が発生したため、大雨後の巡視を実施した。大雨の影響と考えられるような新たな路面状況の変化、道路陥没の兆候等は確認されなかった。			
・ 10 人孔の巡視・点検を行った。経年劣化が見られる箇所が数か所あり、今後も引き続き点検、巡視を行っていく。修繕推奨項目リストは前月から変更なし。			
・ 異状程度 A の施設について、今年度の予算等を踏まえた上で修繕等を行う予定である。			
5.雨水管渠			
・ 当月は 10 人孔の巡視、点検を行った。			
・ 経年劣化が見られる箇所が数か所あり、今後も引き続き点検、巡視を行っていく。			
・ 修繕推奨項目リストは前月から変更なし。			
(次項へ続く)			

打合せ事項、対策・合意事項等	
6.終末処理場	
・21日、16時からDHSろ床から塩素混和池へのバイパス運転を開始した。これにより、消費電力の削減が見込まれる。放流水質基準のBOD15mg/l以下の目標値を保つため塩素の添加量は現状の0.36g/日でも問題ないと思われるが、安全を考慮し0.56g/l日に変更している。バイパス運転に伴い休止した生物膜ろ過槽については、保守点検のため週に1回、自動で洗浄を行うよう設定している。また、生物膜ろ過移送ポンプについては、DHSろ床下部水槽の汚泥を定期的に引き抜くようなプログラムに変更している。今後、安定した放流水質が満たされるよう経過を注視する。	
7.クリーンセンター横浪	
・1日、破砕機自動給油装置上軸側油量により自動立ち上げが出来ない状態となった。各ラインフィルター(2ヶ所)を交換及び清掃を行ったところ自動運転に復帰した。後調整として上軸側の流量を少し調整した。	
・16日、6月の一斉清掃で出るゴミ及び泥の搬入について、環境未来課とCPSで現場打合せ(クリーンセンター横浪)を行った。	
・20～28日、外部からの覆土用の土が搬入された。(矢正建設)	
・23日、雑用コンプレッサーオイルの交換及びフィルターの清掃、破砕機自動給油装置フィルター(6ヶ所)の交換及び清掃を実施した。また、破砕機自動給油装置オイル交換も実施した。	
8.漁業集落排水処理施設	
・対象5施設に対して、5月8日及び22日に要求水準書に定められた項目に従って保守点検を実施した。	
・電流値測定の結果、池ノ浦のばっ気槽ブローNo.1及びNo.2の電流値が8.2であり、定格電流値8.0を超過していた。原因として、曝気槽の散気管のつまりが考えられる。近日中に曝気槽内のドライ化を行い、散気管内のつまり確認を行う。	
9.雨水ポンプ場	
・要求水準書に定められた項目に従って保守点検を実施した。	
・須崎西部ポンプ場の自家発電設備運転リレー不良が発生したため、5月27日に交換を実施した。	
10. その他連絡事項	
・次回すさき家パートナー会議は、令和7年7月28日又は7月29日開催予定とする。	
・大雨(100mm降雨)後の巡視方法は、マンホール蓋の開閉を行わずに、管きょ布設上部の舗装等に大雨による異状や異状の兆候がないか、地上部を歩行し確認している。	
異状や異状の兆候がある場合は、速やかに点検(マンホール蓋の開閉を伴う)を行い、異状内容を報告することを関係者間で再確認した。	
	以上